

地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業 防災リレー講座

第9回

三宅島噴火の経験から学ぶ — 全島避難・子ども支援・地域防災への示唆 —

みやした かな

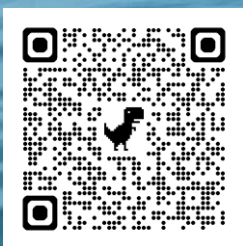
講師：宮下 加奈 先生
一般社団法人減災・復興支援機構専務理事

令和8年 9月3日（木）

15:00～16:45

場所：鳥羽商工会議所3階
かもめホール（オンライン参加も可）

<https://forms.gle/JZZztzjH1cKvvGA9>



二次元コードからPC、スマホ
でもお申込みいただけます

申し込みは裏面の連絡先、あるいは
左の二次元コードからお申し込みください

講師プロフィール

東京都三宅島生まれ。三宅島噴火により2度の被災を経験する。1983年の噴火では溶岩流により自宅を失い、避難所・仮設住宅での生活を経験。2000年の噴火では約4年5か月に及ぶ全島避難生活を送り、その避難期間中から住民組織の活動に参加し、被災者としてコミュニティの維持・再生に取り組む。2005年の全島避難解除を機に「ネットワーク三宅島」を設立。2010年には一般社団法人減災・復興支援機構を設立し、被災地支援や地域防災、減災・復興に関する活動を全国で展開している。現在は、一般社団法人減災・復興支援機構専務理事の他、ネットワーク三宅島代表、日本災害復興学会理事、火山地域の市民活動相互支援ネットワーク事務局長など多数兼任。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会



■開催趣旨

近年、南海トラフ巨大地震への備えが求められる中、災害発生直後の対応だけでなく、避難生活や教育の継続、地域コミュニティの再生までを見据えた備えの重要性が高まっています。

第9回では、2000年の三宅島噴火により約4年半に及ぶ全島避難を経験した東京都の三宅島の事例から、長期避難下での学校教育や子ども支援、住民の暮らし、そして地域防災について学びます。全島避難という前例の少ない災害対応の中で、子どもたちの学びや心の支えをどのように守り続けたのか、また、その経験が現在の地域防災や防災教育にどのように生かされているのか、離島で暮らしておられる方々の多い鳥羽市のみなさまにぜひ参加いただきたい講座です。

■プログラム（予定）

第8回：令和8年9月3日（木）15:00～16:45（質疑応答含む）

14:30 開場（オンラインは14:50開場）

15:00 開始・趣旨説明

15:05 専門家によるご講義

16:05 小休憩

16:10 会場からの質疑応答・次回のリレー講座案内など

16:45 閉会

■場所：鳥羽商工会議所3階 かもめホール＋オンライン(ZOOM)

■参加費：無料

■連絡先・申し込み方法 9月1日（火）〆切

※スマホ・タブレット端末をお持ちの方は、二次元コードから参加申し込みをお願いします

右の二次元コードから（どなたでも）

※二次元コード以外の参加申し込みの場合は、お電話・メールで受け付けます

＜電話の場合＞

鳥羽市教育委員会 学校教育課

☎⑤ 1 2 6 5 （電話でお申し込み希望の学校関係者のみ）

鳥羽市 総務課 防災危機管理室

☎⑤ 1 1 1 8 （電話でお申し込み希望の市民の方）

＜メールの場合＞

SEEDS Asia鳥羽プロジェクトオフィス

Eメール：mitsuko.otsuyama@seedsasia.orgまで



二次元コードからタブレット端末・
スマホでお申込みいただけます

本講座は、鳥羽市と認定NPO法人SEEDS Asiaが締結した「地域への愛着を基盤とした学校・地域安全モデル事業」に基づく共同事業の一環として実施し、一般財団法人日本民間公益活動連携機構およびジャパン・プラットフォームによる支援を受けています。



【主催】認定NPO法人 SEEDS Asia
【共催】鳥羽市 鳥羽市教育委員会

